

食料安定生産に資する新たな病害虫危機管理対策・体制の構築事業

【平成31年度予算概算決定額 56 (53) 百万円】

<対策のポイント>

迅速で精度の高い発生予察から得た病害虫の発生状況データに応じた適時に適切な防除の実践、薬剤抵抗性を獲得した病害虫に対する適切な防除対策等により、生産コストの削減、生産者所得の向上を図ります。

<政策目標>

生産コストの削減、生産者所得の向上を図るため、迅速かつ効率的な発生予察の実現、薬剤抵抗性病害虫・雑草等の新たな課題に対する防除対策等を確立

<事業の内容>

1. 病害虫の防除に直結する発生予察体制への転換事業

- 営農活動の必須情報となっている病害虫発生予察情報をタイムリーに活用できるようにするため、ICT技術を用いた**病害虫発生調査結果の集約・報告体制の構築等**を行い、**迅速かつ効率的な発生予察を実証**します。

2. 病害虫の効率的防除体制の再編事業

- ブロック単位（複数県）で専門家を交えた委員会を構成し、**地域で問題となっている病害虫について**、広域的に情報共有を行い、高度な防除方針を策定し、**病害虫に対し効率的で的確な対策を講じることができる体制構築を実証**します。

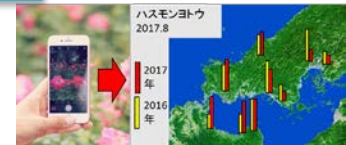
3. 薬剤抵抗性病害虫・難防除雑草等の防除対策の高度化事業【拡充】

- ① **薬剤抵抗性病害虫や難防除雑草に関する発生実態調査や防除方法の実証、生産者等への指導等**を支援します。
- ② ニーズの高まっている**ドローン等の無人航空機**について、**野菜等への農薬登録の拡大や、効率的な散布が可能となる散布ノズル等、新たな散布技術の現場導入**を支援するとともに、**生産量が少なく利用できる農薬に制限のある作物への農薬登録の拡大**を図ることにより、効果が高い防除手段を確立します。

<事業イメージ>

病害虫の防除に直結する発生予察体制への転換

- ・スマホ、タブレット等の携帯端末を活用した、病害虫発生調査結果の集約、データ取りまとめの効率化
- ・生産者等から直接的に病害虫発生情報を収集



病害虫の効率的防除体制の再編

- ・地域ブロック単位で病害虫防除体系を検討・確立する体制の構築を実証



薬剤抵抗性病害虫・難防除雑草等の防除対策の高度化

- ・防除対策の実証への支援



薬剤抵抗性病害虫



(例) モロヘイヤ ミシマサイコ
・農薬登録の拡大に向けた試験や散布技術の現場導入支援

<事業の流れ>



- 防除作業等の低コスト化・省力化
- 生産コストの削減、生産者所得向上の実現！

【お問い合わせ先】消費・安全局植物防疫課 (03-3502-3382)